

【参考１】ＩＣＴ活用工事及び簡易型ＩＣＴ活用工事

	施工プロセス					工事成績
ＩＣＴ 活用工事 (地盤改良工)	ＩＣＴ施工プロセスの全て（①～⑤）を活用する場合					創意工夫【施工】で加点（２項目） ☒ 運搬車両・施工機械等の工夫 ☒ 施工管理ソフト、土量管理システム等の活用に関する工夫
	① ３次元 起工測量 【見積り】	② ３次元 設計データ 【見積り】	③ ＩＣＴ建機 による施工 【ＩＣＴ積算】	④※ ３次元 出来形管理 (間接費に含む)	⑤ ３次元 データ納品 (間接費に含む)	
簡易型 ＩＣＴ 活用工事 (地盤改良工)	【ケース１】②③④⑤を活用する場合					
	① 従来測量 (従来率)	② ３次元 設計データ 【見積り】	③ ＩＣＴ建機 による施工 【ＩＣＴ積算】	④※ ３次元 出来形管理 (間接費に含む)	⑤ ３次元 データ納品 (間接費に含む)	

※ＩＣＴ地盤改良工の出来形管理については、施工履歴データで行うことを原則とする。ただし、改良土を盛立てるなど施工履歴データによる管理が非効率になる部分について監督職員との協議の上で他の計測技術による出来形管理を行っても良い。なお、改良範囲の施工履歴データは、⑤によって納品するものとする。

【参考２】 ＩＣＴ活用工事及び簡易型ＩＣＴ活用工事を除く生産性向上に資するＩＣＴ活用工事

次の技術等を活用した場合、生産性向上に資する工事とする。

例）自動追尾トータルステーション、パワーアシストスーツ、情報共有システム（ＡＳＰ）、遠隔臨場、ＡＩ技術、ＶＲ技術、３次元起工測量、

２次元ＭＣ又はＭＧ 等

⇒創意工夫【その他】で加点

☑【生産性向上】 ＩＣＴ活用工事及び簡易型ＩＣＴ活用工事を除く生産性向上に資する取組みが図られている。

【参考３】 創意工夫で加点するための履行確認書類（例）

技術名等	創意工夫等 別添様式1,2の作成	備考
ＩＣＴ活用工事、簡易型ＩＣＴ活用工事	不要	ICT活用工事計画書、出来形管理書類等でＩＣＴを活用したことが確認できる。
自動追尾トータルステーション	必要	
パワーアシストスーツ	必要	
情報共有システム（ＡＳＰ）	不要	工事打合せ簿等にてＡＳＰを活用していることが確認できる。
遠隔臨場	不要	段階確認記録表等にて遠隔臨場を実施していることが確認できる。
ＡＩ技術	必要	
ＶＲ技術	必要	
３次元起工測量	必要	
２次元ＭＣ又はＭＧ	必要	